

平成 23 年度新農薬実用化試験で注目された 病害虫防除薬剤

(社)日本植物防疫協会調査企画部 はやし なおと ぬまた きょうた 林 直人・沼田 京太

はじめに

平成 23 年度の新農薬実用化試験については、10 月 20 日の茶農薬試験成績検討会を皮切りに、稲・野菜関係地域成績検討会、果樹等試験成績検討会、生物農薬試験検討会等順次開催され、依頼された薬剤の各種病害虫に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 23 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤並びにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

[殺菌剤]

本年度依頼された試験薬剤は 281 剤であった（生物農薬を含む）。これら薬剤についてそれぞれ複数の作物、病害に対して延べ 2,008 件の試験が実施された。成分が新規化合物単剤もしくは新規化合物同士の混合剤である製剤は 29 剤（10.3%）、新規化合物と既知化合物の混合剤は 11 剤（3.9%）であった（図-1）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係では、ここ数年育苗箱施用の抵抗性誘導をおこす有効成分を持つ製剤と殺虫成分の混合製剤が数多く試験されてきたが、それらの開発が一段落したため昨年より減少した。病害別に見るといもち病を対象とする試験が、稲全体の 4 割を占め最も多かったものの、いもち病の試験数自体は昨年より減少した。ごま葉枯病菌による穂枯れや、内穎褐変病、もみ枯細菌病の試験は昨年同様で、稲こうじ病の試験が増加したほか、墨黒穂病の依頼も昨年同様に試験されている。稲の本田処理剤や種子消毒剤は昨年同様少なかったが、育苗期に発生し問題となる苗立枯細菌病や苗腐敗症状をおこすもみ枯細菌病を対象に抵抗性誘導をおこす有効成分を持つ育苗箱施用剤で試験が行われた。また昨年に引き続き稲のばか苗病に対し本田での散布処理により感染を抑え、次年度の種粒保菌率の低減をねらった試験が実施された。麦関係では昨年同様に雪腐病の試験薬剤が多かった。

野菜関係は、昨年より増加した。初めて依頼された新規化合物を含む製剤は 3 剤であった。野菜全体では既登録剤の適用拡大試験が多く、作物病害も多岐にわたった。また昨年は少なかったべと・疫剤で新剤が 2 剤登場した。病害別ではトマトうどんこ病、ネギ、レタスべと病、ブロッコリー菌核病の試験が多かった。その他、キャベツ黒斑細菌病に対する試験や、ここ数年依頼があるネギ、タマネギの黒腐菌核病やだいち黒根腐病、莖疫病の試験依頼も昨年同様試験がなされた。全体に茎葉散布剤が多かったが種子処理剤や種いも等に処理する試験薬剤も多く見られた。

果樹関係は落葉果樹では昨年とほぼ同様、寒冷地果樹、常緑果樹は昨年より増加した。なし、りんごのうどんこ病の依頼が多く、ブドウべと病、晩腐病の依頼も多かった。西洋なしで黒斑細菌病、かき黒星落葉病の試験が報告されている。

茶の分野では、試験薬剤数は 12 剤で昨年より増加した。病害別では輪斑病が最も多く、網もち病、もち病の依頼も多かった。

芝草分野では昨年よりもやや減少したが、葉腐病（ラージパッチ）、ダラスポット病の依頼が多く、今年度新たにフザリウム病、ドレクスレラ葉枯病の試験が報告された。

生物農薬では、稲病害の種子処理剤や、野菜病害でのバチルス剤の試験が一段落したため試件数は減少した。

[殺虫剤]

本年度依頼された薬剤数は 271 剤で、それぞれ複数の

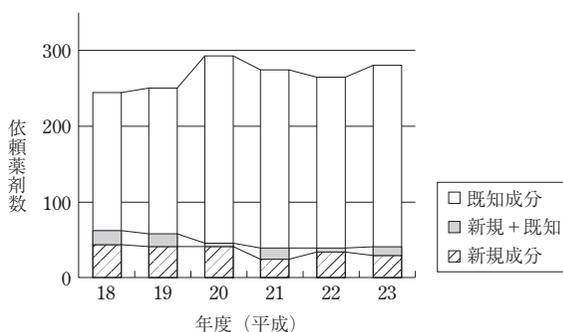


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

The Remarked Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2011).
By Naoto HAYASHI and Kyota NUMATA

(キーワード：殺虫剤，殺菌剤，JPPA，新農薬実用化試験，平成 23 年度)

作物・害虫に対して延べ3,230件の試験が実施された。新規成分の単剤は29剤、新規成分と既知成分の混合剤は10剤であった(図-2)。

試験分野別に見ると、稲・麦関係は、ここ数年殺菌剤・殺虫剤共に新規剤の開発があり、それらの混合製剤を中心として活況であったが、それらが一段落して減少した。対象の害虫のバラエティは広いが個々の試験数は少なめであった。また今年からの新剤も1剤と少なかった。処理方法の種類としてはここ数年同様箱粒剤が全体の7割を超え圧倒的に多かった。

野菜関係も今年から試験を開始した新規化合物は少なくとも1剤にとどまった。しかしここ数年で登場した新規化合物の開発は活発であり、多様な作物・害虫への試験が多数行われた。全体としては茎葉散布剤が主体であるが、液剤のセルトレイ・ポット灌注、生育期株元灌注等も活発に開発されており、また粒剤の土壌処理剤も多かった。

果樹は寒冷地果樹と常緑果樹が少なめであったが、落葉果樹は近年では一番多かった。落葉果樹分野はここ数年活況のチョウ目害虫対象剤が相変わらず多かったが、ダニ剤・カメムシ目・アザミウマ目に対する試験依頼も多かった。寒冷地果樹分野は依頼数は少ないが、樹種も含めて広く試験が実施され、適用拡大がすすめられた。常緑果樹分野では、新規剤の参入もなく非常に依頼が少なかった。しかし寒冷地同様適用拡大がすすめられているため害虫種は豊富だった。

茶分野では、猛威をふるっているミカントゲコナジラミの試験が相変わらず多く、本年はカンザワハダニの試験も久し振りに目立った。その他の害虫に対する試験も継続され平年並みの試験数であった。

芝分野では、昨年は近年最多の依頼があったが本年度は新規剤の参入もなく平年並みとなった。

生物農薬分野では、天敵2種が新たに登場し、ここ数年ほぼ同様な依頼数であった。

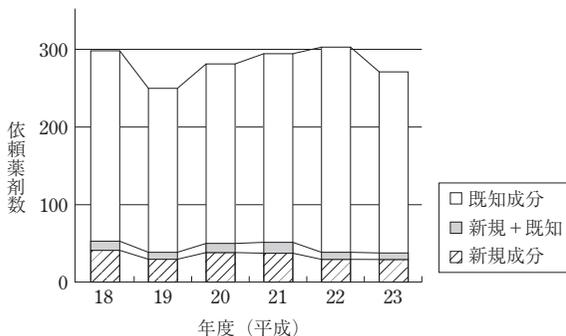


図-2 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

II 注目される新規化合物を含む薬剤および新規生物製剤

[殺菌剤]

平成23年度に試験された試験受託時に未登録の新規化合物を含む薬剤(生物農薬を含む)は40剤で、単剤は29剤、混合剤は11剤であった。このうち、本年度初めて依頼された成分は4剤であった(表-1, 3)。

表-1 平成23年度に初めて依頼のあった新規化合物(病害防除)

| 薬剤コード・成分 | 依頼作物・病害 | 備考 |
|--|--|-----------------------------------|
| BAF-1107 フロアブル 新規化合物 200 g/L | ばれいしょ：黒あざ病、 てんさい：葉腐病、根腐病 | |
| SB-4303 フロアブル 新規化合物 80 g/L 既知化合物 500 g/L | ばれいしょ：疫病、たま ねぎ：べと病、きゅう り：べと病、トマト：疫 病、はくさい：べと病 | 既知の保護剤 との混合剤で べと・疫対象 の薬剤 |
| NK-1001 乳剤 新規物質 82.5% | きゅうり：うどんこ病、 なす：うどんこ病、いち ご：うどんこ病 | 物理的に作用 する剤 |
| NF-171 フロアブル 5 新規化合物 5% | 野菜類：べと病、トマ ト：疫病、なす：褐色腐 敗病 | べと・疫剤 |

表-2 平成23年度に初めて依頼のあった新規化合物(害虫防除)

| 薬剤コード・成分 | 作物・病虫害 | 備考 |
|--------------------------------|---|---|
| BCI-111 粒剤 新規化合物 4% | 稲：ウンカ類・ツマ グロヨコバイ・イネ ドロオイムシ・イネ ミズゾウムシ | カメムシ目・コウチュ ウ目に活性を示し、浸 透移行性を有する |
| IKI-3106 液剤 50 新規化合物 50 g/L | 各種作物：チョウ目 を主体として広い殺 虫スペクトラム | 長期残効性を有しチョ ウ目には即効的、その 他にはやや遅効的に作 用する |

表-3 平成23年度に初めて依頼のあった生物農薬

| 薬剤名 | 成分 | 対象作物・病虫害 |
|-------------|------------------|----------------------------|
| (病害防除) | | |
| CGC2014 水和剤 | 細菌 | ブロッコリー：花蕾腐敗病 |
| (害虫防除) | | |
| ALE-1151 | ギファブラバチ | なす・ピーマン：ジャガイ モヒゲナガアブラバチ |
| STS-02 | ヒメカメノコテ ントウ成虫 | いちご・ピーマン：アブラ ムシ類 |

表-4 最近名称変更のあった主な薬剤

| 旧薬剤名 | 変更後名称 | 成分名・量 |
|-----------------|----------------------|---|
| (殺菌剤) | | |
| BCF-061 フロアブル | オルフィンフロアブル | フルオピラム 41.7% |
| BCF-081 粒剤 | エメリオン粒剤 | ペンフルフェン 2% |
| BEF-0591 フウロアブル | オブテインフロアブル | ペンフルフェン 22.7% |
| KPP206 水和剤 | イキイキハーモニー水和剤 | <i>Paenibacillus polymyxa</i> 4 × 10 ¹⁰ CFU/g 以上 ポリオキシシン複合体 20.0% |
| S-2188 50DF | ピクシオ DF | フェンピラザミン 50% |
| NNF-0920 フロアブル | フジドー L フロアブル | 塩基性硫酸銅 23.0% |
| SYJ-184 粒剤 | ユニフォーム粒剤 | メタラキシル M1.0% アゾキシストロピン 2.0% |
| S-8585WP | ブライア水和剤 | ジエトフェンカルブ 3.5% ペノミル 25.0% |
| OK-5203 乳剤 | ガッテン乳剤 | フルチアニル 5% |
| GG202 顆粒水和剤 | リゾトップ | フラメトピル 50% |
| (殺虫剤) | | |
| KUI-1105 微粒剤 F | キラップ微粒剤 F | エチプロール 0.5% |
| (殺虫・殺菌剤) | | |
| NNIF-1031 粒剤 | ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤 | チアジニル 6.0% ジノテフラン 2.0% クロラントラニリプロール 0.75% |
| NNIF-1032 粒剤 | ブイゲットフェルテラスタークル粒剤 | チアジニル 12.0% ジノテフラン 2.0% クロラントラニリプロール 0.75% |
| BCM-094 粒剤 | ルーチンクアトロ箱粒剤 | イミダクロプリド 2.0% エチプロール 4.0% クロラントラニリプロール 0.75% イソチアニル 2.0% |
| BCM-093 粒剤 | ルーチントレス箱粒剤 | イミダクロプリド 2.0% クロラントラニリプロール 0.75% イソチアニル 2.0% |
| S-8640 箱粒剤 | スタウトダントツディアナ箱粒剤 | イソチアニル 2.0% クロチアニジン 1.5% スピネトラム 0.5% |
| S-9102 粒剤 | ショウリヨク S 粒剤 | イマゾスルフロン 0.3% カフェンストロール 0.7% カルタップ 5.3% プロモブチド 3.0% ダイムロン 1.7% |

このうち BAF-1107 フロアブル (BASF ジャパン) はばれいしょ黒あざ病, てんさい葉腐病等のリゾクトニア菌による病害を対象に依頼され, 野菜類のべと病, 疫病に保護剤である既知成分との混合剤で SB-4303 フロアブル (エス・ディー・エス バイオテック), 新規成分の単剤で NF-171 フロアブル (日本曹達) が試験され, いずれも高い防除効果を挙げている。

生物農薬では, ブロッコリー花蕾腐敗病に CGC2014 水和剤 (セントラル硝子) の試験が行われた。

[殺虫剤]

平成 23 年度に試験された, 依頼申請時に未登録の新規物を含む薬剤は 39 剤で, 単剤は 29 剤, 混合剤は 10 剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は 2 剤であった (表-2, 3)。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち, BCI-111 粒剤 (バイエルクロップサイエンス) は箱粒剤として水稻のウンカ・ヨコバイ類, イネミズゾウムシ, イネドロオイムシに試験実施された。IKI-3106 液剤 50 (石原産業・石原バイオサイエンス) は多様な作物のチョウ目害虫を中心としてコナジラミ類・アザミウマ類・ハモグリバエ類に対して試験された。

生物農薬で新規に試験されたのは STS-02 (住化テクノ) で, 日本在来のヒメカメノコテントウの成虫である。本種はナミテントウに比べて定着性がよく, 長い寿命の間あちこちに産卵することにより効率的にアブラムシ類を防除できるという。

III その他注目された事項

当協会では, 農薬登録に必要な基本的な防除効果薬害試験を実施しているが, 資材によっては普及場面での使

用方法や体系防除における位置づけをより明確にする必要がある場合や, 防除効果や薬害についても使用方法や処理時期等によっては集中的に検討する必要があると考えられる農業資材などに対して, 特別連絡試験を行っている。

今年度はりんごのモモシクイガ防除で取り組まれた課題を以下に一部を紹介する。

サムコルフロアブル 10 のりんごモモシクイガに関する特別連絡試験 (デュボン株式会社)

サムコルフロアブル 10 はクロラントラニリプロールを有効成分とする殺虫剤で, モモシクイガに対して従来剤と同様にりんご幼果に散布することにより幼虫の食入を阻止する効果をもち既登録となっている。一方海外の知見では近縁種で成虫に対する配偶行動阻害効果もあり, 早い時期からの 2 回散布によってより効率的な防除が望める可能性が示唆されていることから, 東北の六つの試験機関が参加し特別連絡試験が実施された。

室内での成虫に対する影響試験では交尾・産卵に対する影響が確認され, 圃場での慣行防除との比較試験により最初の 2 回を本剤に置き換えることにより高い被害抑制効果が得られることが確認された。

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は初めて委託に出されるときにはコード番号などを薬剤名として使用しているが, 登録に伴って商品名が命名される。また, 商品名がつけられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり, 過去の試験と比較するとき, 戸惑うこともある。そこで, 最近名称に変更があった薬剤の一覧表を作成した (表-4)。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-5 平成 23 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除: イネ・ムギ)

| 作物名 | 病虫害名 | 薬剤名 | 作物名 | 病虫害名 | 薬剤名 |
|-----|---------------------|--|-----|---------------|--|
| 稲 | ピシウム菌による急性萎凋症 (ムレ苗) | オラクル顆粒水和剤 | 稲 | 紋枯病 | S-8905 箱粒剤, ノンプラスバリダダントツフロアブル, アミスター微粒剤 F |
| 稲 | いもち病 | BAC-1013 粒剤, BCF-111 フロアブル, HM-2061 フロアブル, MIF-1001 粒剤, MIM-1003 粒剤, MIM-1004 粒剤, MIM-1005 粒剤, S-8905 箱粒剤, アプライン箱粒剤, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ノンプラスバリダダントツフロアブル, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, フジワンプック | 稲 | 穂枯れ (ごま葉枯病菌) | AF-0201 粉剤 DL, Dr. オリゼプリン S 粒剤 10, 嵐キラップ粒剤, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ルーチンバリアード箱粒剤 |
| | | | 稲 | 変色米 (カーブラリア菌) | イモチエーススタークル粒剤 |
| | | | 稲 | 墨黒穂病 | HM-0853 フロアブル, HM-0854 フロアブル, 嵐キラップ粒剤, イモチエーススタークル粒剤 |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|-----|--------------|---|-----|--------------|--------------------------------------|
| 稲 | もみ枯細菌病 | S-8905 箱粒剤, MH-1001 粒剤, ノンプラス粉剤 DL, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ルーチンアドスピノ箱粒剤 | 稲 | 褐条病 | エコフィット |
| 稲 | 白葉枯病 | S-8905 箱粒剤, ビルゲーフェルテラスタークル箱粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤 | 稲 | もみ枯細菌病 (苗腐敗) | ルーチンアドスピノ箱粒剤 |
| 稲 | 内穎褐変病 | Dr. オリゼフェルテラ粒剤, S-8608 箱粒剤, ノンプラスフロアブル, ノンプラス粉剤 DL | 稲 | 苗立枯細菌病 | ルーチン粒剤 |
| 稲 | 苗立枯病 (ピシウム菌) | オラクル顆粒水和剤 | 稲 | いもち病 (苗いもち) | ベンレート水和剤 |
| | | | 小麦 | 雪腐小粒菌核病 | BCF-091 フロアブル, MAF-0801EW, フロンサイド SC |
| | | | 小麦 | 雪腐大粒菌核病 | フロンサイド SC |
| | | | 小麦 | うどんこ病 | MAF-0801EW |

平成 23 年度は 82 薬剤 322 試験が実施された。薬剤数、試験数共に昨年に比較し減少した。アミスター微粒剤 F などが申請に足る試験数が得られた。

表-6 平成 23 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除：野菜・花き)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|--------|-------|-----------------------------------|-------|-------------------------|---|
| ばれいしょ | そうか病 | アグレプト液剤 | こんにゃく | 葉枯病 | IC ボルドー 412・水和剤, IC ボルドー 48Q・水和剤, NT-8008 水和剤 |
| だいず | べと病 | ダイナモ顆粒水和剤, プリザード水和剤 | | 根腐病 | オラクル顆粒水和剤, ランマンフロアブル |
| | 茎疫病 | ランマン 400SC | なす | 褐色腐敗病 すすかび病 うどんこ病 | ライメイフロアブル, Z ボルドー, AKD-5188FL20 |
| | 黒根腐病 | クルーザー MAXX, シルバキュアフロアブル, ベンレート水和剤 | トマト | 葉かび病 | 園芸ボルドー, ジーファイン水和剤 |
| | 紫斑病 | S-2200 40SC, ブライア水和剤 | | 斑点病 | ベルコートフロアブル |
| えだまめ | 苗立枯病 | リゾレックス水和剤 | | うどんこ病 | 園芸ボルドー, リナセル顆粒水和剤 |
| あずき | 灰色かび病 | オルフィンフロアブル | ピーマン | 疫病 | アミスターオプティフロアブル |
| | 菌核病 | S-2200 40SC | | うどんこ病 | ハチハチ乳剤 |
| いんげんまめ | 灰色かび病 | IKF-5411SC400, フロンサイド SC | きゅうり | 斑点細菌病 | 日曹ムッシュボルドー DF |
| | 炭疽病 | フロンサイド SC | | べと病 | クリーンカップ |
| いんげん | 菌核病 | オルフィンフロアブル | | 褐斑病 | イキイキハーモニー水和剤, クリーンカップ |
| さやいんげん | 苗立枯病 | リゾレックス水和剤 | | うどんこ病 | ダイパワー水和剤 |
| さやえんどう | 灰色かび病 | オルフィンフロアブル | メロン | うどんこ病 | プロバティフロアブル |
| | 苗立枯病 | リゾレックス水和剤 | すいか | うどんこ病 | プロバティフロアブル |
| | うどんこ病 | シグナム WDG | かぼちゃ | 疫病 | ベトファイター顆粒水和剤 |
| そらまめ | 立枯病 | ベンレート水和剤 | だいこん | 亀裂褐変症 | フロンサイド SC |
| らっかせい | 黒渋病 | ベンレート水和剤 | | 白さび病 | ユニフォーム粒剤 |
| てんさい | 葉腐病 | BAF-1107 フロアブル, BAF-1108 乳剤 | かぶ | 根こぶ病 | ネビリュウ |
| | 褐斑病 | BAF-1108 乳剤 | | | |
| | 根腐病 | BAF-1107 フロアブル | | | |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|--------|---------------|---------------------------------|--------|-------|---------------------------------|
| はくさい | 軟腐病 | マイコシールド水和剤 | たまねぎ | 白色疫病 | ベトファイター顆粒水和剤 |
| | べと病 | ザンプロ DM フロアブル | にら | さび病 | オンリーワンフロアブル |
| | 菌核病 | ベンレート水和剤 | にんにく | 白斑葉枯病 | IC ボルドー 66D・水和剤, シグナム WDG |
| | 黒斑病 | AFH-0001 顆粒水和剤 | | | |
| キャベツ | 黒斑細菌病 | カスミンボルドー, カセット水和剤, ドイツボルドー A | らっきょう | 白色疫病 | ライメイフロアブル |
| | 黒腐病 | マイコシールド水和剤 | アスパラガス | 斑点病 | シグナム WDG |
| | 菌核病 | S-2200 40SC | | 褐斑病 | シグナム WDG |
| | 根こぶ病 | ネビリュウ | | 茎枯病 | NT-8008 水和剤 |
| カリフラワー | 根こぶ病 | ネビリュウ | レタス | 腐敗病 | アグレプト液剤 |
| ブロッコリー | べと病 | シグナム WDG | | 斑点細菌病 | コサイド 3000 ドライフロアブル |
| | 根こぶ病 | オラクル粉剤, ネビリュウ | | 軟腐病 | KUF-2101 水和剤 |
| チンゲンサイ | 白さび病 | ユニフォーム粒剤 | | べと病 | シグナム WDG, ジャストフィットフロアブル, ハチハチ乳剤 |
| たいさい | 炭疽病 | S-2200 40SC | | 灰色かび病 | シグナム WDG |
| のざわな | 根こぶ病 | オラクル粉剤 | しゅんぎく | 炭疽病 | ベンレート水和剤 |
| みずな | 根こぶ病 | オラクル粉剤, ネビリュウ | にんじん | しみ腐病 | アミスターオプティフロアブル |
| | 炭疽病 | S-2200 40SC | | うどんこ病 | アミスターオプティフロアブル |
| いちご | 疫病 | KUF-2101 水和剤 | セルリー | 斑点病 | トリフミン水和剤 |
| | 萎黄病 | ベンレート水和剤 | ほうれんそう | 萎凋病 | ベンレート水和剤 |
| | 炭疽病 | ダブルストッパー, フロンサイド SC, ベンレート水和剤 | しょうが | 白星病 | IC ボルドー 66D・水和剤, オンリーワンフロアブル |
| | うどんこ病 | イオウフロアブル | | | |
| ねぎ | べと病 | ザンプロ DM フロアブル, ハチハチ乳剤, プリザード水和剤 | くわい | ひぶくれ病 | コサイド 3000 ドライフロアブル |
| | 小菌核腐敗病 | アミスターオプティフロアブル | きく | 白さび病 | ペンコゼブフロアブル |
| たまねぎ | 灰色腐敗病 | シグナム WDG | パンジー | 疫病 | オラクル顆粒水和剤 |
| | 灰色かび病 (白斑葉枯病) | オルフィンフロアブル, IKF-5411SC400 | ベチュニア | うどんこ病 | ダコニール 1000 |
| | | | バーベナ | うどんこ病 | ダコニール 1000 |
| | | | いぬつげ | 枝枯病 | トップジン M 水和剤 |

平成 23 年度依頼された薬剤数は 126 剤, 試験数は 1,041 件であった。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は BAF-1107 フロアブル (新規化合物: BASF ジャパン) であった。

表-7 平成 23 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除：果樹・茶・芝)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|------|-------------|--|-----------------|------------------|---|
| なし | 赤星病 | オーシャインフロアブル | りんご | 白紋羽病 | フロンスайд SC |
| | 黒星病(休眠期) | ビオネクト | | すす点病・すす斑病 | コサイド 3000 ドライフロアブル |
| | 輪紋病 | S-2200 40SC | | うどんこ病 | ファンタジスタ顆粒水和剤 |
| | 心腐れ症 | ベンレート水和剤 | おうとう | 樹脂細菌病 | マイコシールド水和剤 |
| | 炭疽病 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | | 灰星病 | NNF-1120 フロアブル, セイビアーフロアブル 20 |
| | うどんこ病 | S-2200 40SC | | 褐色せん孔病 | オーシャインフロアブル, オーシャイン水和剤 |
| もも | せん孔細菌病 | NT-8008・水和剤 | 炭疽病 | NNF-1120 フロアブル | |
| | せん孔細菌病(開花前) | コサイド 3000 ドライフロアブル | かんきつ | かいよう病 | NR-24 水和剤 |
| | 灰星病 | S-2200 40SC | | 灰色かび病 | IKF-5411SC400, オーシャインフロアブル, ナリア WDG |
| | 黒星病 | MAF-0801SC, S-2200 40SC, オルフィンフロアブル, サルバトール ME | | 褐色腐敗病 | レーバスフロアブル |
| | ホモブシス腐敗病 | S-2200 40SC | | 黒点病 | ナリア WDG |
| すもも | ふくろみ病 | ナリア WDG | | そうか病 | IC ボルドー 66D・水和剤, ナリア WDG |
| | 灰星病 | BCF-061 フロアブル, オーシャインフロアブル, ドーシャスフロアブル | キウイフルーツ | 花腐細菌病 | コサイド 3000 ドライフロアブル |
| あんず | 灰星病 | オーシャインフロアブル | | すす斑病 | ファンタジスタ顆粒水和剤 |
| うめ | かいよう病 | フジドー L フロアブル | マンゴー | 炭疽病 | ペンコゼブ水和剤 |
| | 黒星病 | S-2200 40SC, オーシャインフロアブル | パパイヤ | 軟腐病 | コサイド 3000 ドライフロアブル |
| ぶどう | べと病 | ダイナモ顆粒水和剤, ヨネボン水和剤 | 茶 | 褐色円星病 | ナリア WDG |
| | 褐斑病 | オーシャインフロアブル | | もち病 | S-2200 40SC, ナリア WDG, フジドー L フロアブル |
| | 黒とう病 | IKF-5411SC400 | | 輪斑病 | AF-0201 フロアブル 20, S-2200 40SC, S-8585WP |
| | 黒とう病(休眠期) | ベンレート T 水和剤 20 | | 新梢枯死症 | S-2200 40SC |
| | 晩腐病 | S-2200 40SC, ベンレート T 水和剤 20 | 芝 | グラースポット病 | エメラルド DG, オプテインフロアブル, デディケートフロアブル, ミラージュフロアブル |
| | さび病 | アフエットフロアブル | | フェアリーリング病 | GG226SC |
| かき | 落葉病 | S-2200 40SC, ナリア WDG, ヨネボン水和剤 | | 疑似葉腐病(春はげ症) | リゾトップ |
| | うどんこ病 | チオノックフロアブル, フリントフロアブル 25 | | カーブラリア葉枯病 | ペンコシャイン水和剤 |
| いちじく | 疫病 | レーバスフロアブル | | 葉腐病(ラージパッチ) | オプテインフロアブル, デディケートフロアブル, リゾトップ |
| りんご | 赤星病 | オーシャインフロアブル | かさ枯病 | NR-16 水和剤, トルファン | |
| | 斑点落葉病 | MAF-0801SC, デュアルサイド水和剤 | ネクロティックリングスポット病 | トップティ水和剤 | |
| | 褐斑病 | コサイド 3000 ドライフロアブル, デュアルサイド水和剤 | 炭疽病 | モノドクター水和剤 | |
| | 黒点病 | キノンドー水和剤 80 | | | |
| | 黒星病 | MAF-0801SC, S-2200 40SC | | | |
| | 輪紋病 | S-2200 40SC, コサイド 3000 ドライフロアブル | | | |

平成 23 年度に依頼された試験は落葉果樹 48 薬剤 266 試験, 寒冷地果樹 31 薬剤 118 試験, 常緑果樹で 18 薬剤 84 試験であった。茶の分野では 12 薬剤 67 試験, 芝草の分野では 22 薬剤 136 試験であった。果樹, 茶分野では昨年比で増加し芝草は昨年より件数は減少した。

表-8 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(病害防除:生物農薬)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 有効成分 |
|------|-------|-----------|---|
| トマト | 葉かび病 | ボトピカ水和剤 | バチルスズブチリス MBI600 の生芽胞 2×10^{11} cfu/g |
| だいこん | 軟腐病 | NR-24 水和剤 | 細菌 |
| はくさい | 黒腐病 | ベジキーパー水和剤 | シュードモナスフルオレッセンス 1×10^{10} cfu/g |
| レタス | 軟腐病 | NR-24 水和剤 | 細菌 |
| パセリ | 斑点病 | アグロケア水和剤 | バチルスズブチリスの HAI-0404 株の生芽胞 5×10^9 cfu/g |
| しそ | 斑点病 | アグロケア水和剤 | バチルスズブチリスの HAI-0404 株の生芽胞 5×10^9 cfu/g |
| ばら | うどんこ病 | アグロケア水和剤 | バチルスズブチリスの HAI-0404 株の生芽胞 5×10^9 cfu/g |
| ガーベラ | うどんこ病 | バチスター水和剤 | バチルスズブチリスの生芽胞 1×10^9 分生子 /g |
| バーベナ | うどんこ病 | バチスター水和剤 | バチルスズブチリスの生芽胞 1×10^9 分生子 /g |

平成23年度は7薬剤の依頼があり57試験が実施された。試験は野菜類と花きのうどんこ病が多かった。

表-9 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(病害防除:家庭園芸)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|-------|--------|------------------------------|
| なす | うどんこ病 | NR-28 スプレー, GL-49 (スプレー) |
| トマト | うどんこ病 | NR-28 スプレー |
| | 葉かび病 | NR-28 スプレー |
| | 灰色かび病 | GL-49 (スプレー) |
| きゅうり | うどんこ病 | NR-28 スプレー, サンヨールトレボン液剤 AL |
| | べと病 | サンヨールトレボン液剤 AL |
| きく | 白さび病 | GL-43 (スプレー), サンヨールトレボン液剤 AL |
| | 黒斑病 | SYJ-181 スプレー |
| ばら | 黒星病 | サンヨールトレボン液剤 AL |
| | うどんこ病 | NR-28 スプレー, サンヨールトレボン液剤 AL |
| ペチュニア | うどんこ病 | NR-28 スプレー |
| バーベナ | うどんこ病 | NR-28 スプレー |
| かなめもち | ごま色斑点病 | ベニカ X スプレー |
| はなみずき | うどんこ病 | ベニカ X スプレー |

平成23年度は13薬剤について66試験が実施された。試験薬剤数、試験数共に稲の種子処理剤、野菜類でバチルス剤の試験が一段落したためか昨年に比べ減少した。

表-10 平成 23 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：イネ・ムギ）

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|-----|----------|--|-----|------------|--|
| 稲 | ウンカ類 | BAC-1102 粒剤, DAI-1004 20%フロアブル, IKI-220SC, S-8927 粒剤, ガードナーフロアブル, キラップ微粒剤 F, ノンプラスバリダントツフロアブル, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ブラシンキラップフロアブル | 稲 | コブノメイガ | S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, アプライフェルテラ粒剤 |
| | ツマグロヨコバイ | BCM-092 粒剤, DAI-1004 20%フロアブル, Dr. オリゼフェルテラ粒剤, HM-0939 粉剤 DL, MH-1001 粒剤, MIM-1006 粒剤, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, ガードナーフロアブル, デジタルフレア箱粒剤, ノンプラスバリダントツフロアブル, ファーストオリゼフェルテラ粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ルーチントレス箱粒剤, ワンリード箱粒剤 08, 嵐スタークル箱粒剤 | | イネツトムシ | BAC-1102 粒剤, HM-0806 粉剤 DL, HM-0830 粉剤 DL, HM-0837 粉剤 DL, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, ファーストオリゼフェルテラ粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, フェルテラチェス箱粒剤, フジワンフェルテラ粒剤 |
| | カメムシ類 | AF-0203 粉剤 DL10, AF-0204 粉剤 DL10, AF-0206 粉剤 DL10, DAI-1004 20%フロアブル, キラップ微粒剤 F, ノンプラスバリダントツフロアブル | | フタオビコヤガ | BCM-092 粒剤, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, チューンアップ顆粒水和剤, パダン粒剤 4, ビームキラップジョーカーフロアブル |
| | イネクロカメムシ | ビルダープリンスグレータム粒剤, ビルダープリンス粒剤, ファーストオリゼプリンス粒剤 10, 嵐スタークル箱粒剤 | | イネドロオイムシ | BAC-1013 粒剤, BAC-1101 粒剤, BAC-1102 粒剤, キラップ微粒剤 F, MH-1101 顆粒水和剤, S-8894 顆粒水和剤, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, XI-0603 箱粒剤, ガードナーフロアブル, キラップフロアブル, ショウリョク S 粒剤, ビルダーフェルテラスタークル箱粒剤, ファーストオリゼフェルテラ粒剤, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤 |
| | イナゴ類 | BAC-1102 粒剤, キラップ微粒剤 F | | イネミズゾウムシ | BAC-1013 粒剤, BAC-1101 粒剤, BAC-1102 粒剤, KUI-1001 顆粒水和剤, OK-6101 箱粒剤, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, XI-0603 箱粒剤, ガードナーフロアブル, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤 |
| | イネアザミウマ | ルーチンクアトロ箱粒剤 | | イネヒメハモグリバエ | S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, アプライフェルテラ粒剤, スタウトダントツディアナ箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤, フェルテラ箱粒剤, ルーチントレス箱粒剤 |
| | ニカメイチュウ | BAC-1102 粒剤, HM-0803 粉剤 DL, HM-0830 粉剤 DL, HM-0833 粉剤 DL, HM-0932 粉剤 DL, S-8905 箱粒剤, S-8927 粒剤, ビルダーフェルテラスタークル箱粒剤, ビルダーフェルテラチェス粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル L 粒剤, ブイゲットフェルテラスタークル粒剤, ルーチンバリアード箱粒剤 | | スクミリンゴガイ | NK-1004 粒剤, メタレックス RG 粒剤 |

平成 23 年度は稲・麦用に 76 剤、のべ 477 件の試験が受託された。全体としては箱粒剤の混合製剤が 7 割以上を占めた。対象としては各種害虫に分散する傾向であった。

表-11 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:野菜・花き)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|-------|---------------|---------------------------------------|------------|---------------------------------|--|
| ばれいしょ | アブラムシ類 | IKI-1145 粒剤 1.5, ME5343 顆粒水和剤, ウララ DF | とうもろこし | アブラムシ類 | コルト顆粒水和剤 |
| | ジャガイモガ | スカウトフロアブル, モスピラン顆粒水溶剤 | | オオタバコガ | カスケード乳剤, コテツフロアブル, プレバソンフロアブル5 |
| | ハスモンヨトウ | ディアナ SC, フェニックス顆粒水和剤 | そば | ハスモンヨトウ | プレオフロアブル |
| | オオニジウヤホシテントウ | BASF ベイオフ ME 液剤 | てんさい | アブラムシ類 | ウララ DF, モスピラン SL 液剤 |
| | ジャガイモシストセンチュウ | ネマキック粒剤 | | ヨトウムシ | フェニックスフロアブル |
| かんしょ | ハスモンヨトウ | ディアナ SC, ノーモルト乳剤, フェニックス顆粒水和剤 | こんにゃく | アブラムシ類 | ウララ DF |
| | コガネムシ類 | S-9113 粒剤, プリンスパイト | | アブラムシ類 | コルト顆粒水和剤, ダントツ水溶剤 |
| | ヒョウタンゾウムシ類 | ダントツ粒剤 | さとうきび | カンシャコバナネガカメムシ | ダントツ粒剤 |
| | ハダニ類 | バロックフロアブル | | イエシロアリ | プリンスパイト |
| | | アザミウマ類 | | ダントツフロアブル | |
| さといも | アブラムシ類 | ウララ DF, ダントツ粒剤 | なす | アブラムシ類 | BCI-071 フロアブル, ME5343 顆粒水和剤, NK-1001 乳剤 |
| | ハスモンヨトウ | トレボン粉剤 DL, フェニックス顆粒水和剤, ロムダンフロアブル | | コナジラミ類 | ANM-138 フロアブル, ME5343 顆粒水和剤, アグリメック |
| やまのいも | ナガイモコガ | スカウトフロアブル, プレバソンフロアブル5 | | アザミウマ類 | XI-0601OD, XI-0701SC |
| だいず | アブラムシ類 | ME5343 顆粒水和剤, アドマイヤー 1 粒剤 | | ネキリムシ類 | プレバソンフロアブル5, プレバソン粒剤 |
| | マメシクイガ | プレバソンフロアブル5 | | ハスモンヨトウ | XI-0601OD, フェニックス顆粒水和剤 |
| | ウコンノメイガ | プレバソンフロアブル5 | | オオタバコガ | アクセルフロアブル |
| | ハスモンヨトウ | XI-0601OD, ディアナ SC | テントウムシダマシ類 | アクタラ顆粒水溶剤, コテツフロアブル, モスピラン顆粒水溶剤 | |
| | フタスジヒメハムシ | ダントツフロアブル | ハモグリバエ類 | プレバソンフロアブル5, プレバソン粒剤 | |
| | ハダニ類 | トクチオン乳剤 | ハダニ類 | アグリメック | |
| あずき | アブラムシ類 | MTI-446 水溶剤(顆粒), ウララ DF | ネコブセンチュウ | MAI-08012 粒剤 | |
| | ハダニ類 | トクチオン乳剤 | | | |
| えんどう | アザミウマ類 | ディアナ SC | | トマト | アブラムシ類 |
| | ハスモンヨトウ | ディアナ SC | コナジラミ類 | | DAI-1001 10%フロアブル, アグリメック, プレバソンフロアブル5, ムシラップ, モベントフロアブル |
| | ハモグリバエ類 | ディアナ SC | アザミウマ類 | ANM-138 フロアブル, アグリメック | |
| そらまめ | ハモグリバエ類 | ディアナ SC, パダン SG 水溶剤 | オオタバコガ | XI-0601OD, アファーム乳剤 | |
| 未成熟豆類 | ハモグリバエ類 | トリガー液剤 | | | |
| あわ | アワノメイガ | エスマルク DF, ゼンターリ顆粒水和剤 | | | |
| ひえ | アワノメイガ | エスマルク DF, ゼンターリ顆粒水和剤 | | | |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|------|-------------|---|----------|-----------------|--|
| トマト | ハモグリバエ類 | AKD-1162 乳 剤, XI-0701SC, プレバソンフロアブル 5, プレバソン粒剤 | かぼちゃ | カボチャミバエ | モスピラン顆粒水溶剤 |
| | ネコブセンチュウ | AKD-3088 液剤, MAI-08012 粒剤 | | ネコブセンチュウ | MAI-08012 粒剤 |
| ピーマン | アブラムシ類 | ウララ DF | だいこん | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル |
| | コナジラミ類 | ベストガード水溶剤 | | コナガ | ANM-138 フロアブル, XI-0601OD, フェニックス顆粒水和剤 |
| | アザミウマ類 | ANM-138 フロアブル, XI-0601OD, カスケード乳剤, ディアナ SC | | アオムシ | XI-0601OD |
| | ハスモンヨトウ | プレバソンフロアブル 5 | | ネキリムシ類 | IKI-002 粉粒剤 0.3 |
| | オオタバコガ | フェニックス顆粒水和剤 | | ウワバ類 | ディアナ SC |
| | ハダニ類 | ダニトロンフロアブル | | ダイコンサルハムシ | コテツフロアブル |
| | ネコブセンチュウ | MAI-08012 粒剤 | | キスジノミハムシ | パダン SG 水溶剤 |
| | | | | カブラハバチ | ディアナ SC, モスピラン顆粒水溶剤 |
| ししとう | ハダニ類 | スターマイトフロアブル | ナモグリバエ | パダン SG 水溶剤 | |
| きゅうり | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル | かぶ | アブラムシ類 | ヨネボン水和剤 |
| | コナジラミ類 | AKD-1162 乳 剤, DAI-1001 10%フロアブル, アグリメック, マハラジャ乳剤, モベントフロアブル | | コナガ | ディアナ SC |
| | アザミウマ類 | オンコルスタークル粒剤 | | ハスモンヨトウ | ディアナ SC |
| | ミナミキイロアザミウマ | ブレオフロアブル | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 | |
| | ウリノメイガ | フェニックス顆粒水和剤 | はくさい | アブラムシ類 | DKI-1045 粒剤, XI-0601OD |
| | ハスモンヨトウ | アニキ乳剤 | | コナガ | ANM-138 フロアブル, XI-0601OD, モスピラン SL 液剤 |
| | ウリハムシ | MTI-446 水溶剤 (顆粒), コテツフロアブル, モスピラン顆粒水溶剤 | | ハイマダラノメイガ | DKI-1045 粒剤 |
| | ハモグリバエ類 | プレバソンフロアブル 5 | | アオムシ | トレボン粉剤 DL, プレバソン粒剤 |
| | ハダニ類 | アグリメック | | ヨトウムシ | XI-0601OD, フェニックス顆粒水和剤 |
| | | | | ハスモンヨトウ | フェニックス顆粒水和剤 |
| | | キスジノミハムシ | | ジュリボフロアブル | |
| メロン | ハモグリバエ類 | ボリアムガンダム顆粒水和剤 | キャベツ | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, アクタラ粒剤 5, ガードナーフロアブル, ジュリボフロアブル |
| | ハダニ類 | アグリメック, デュアルサイド水和剤 | | アザミウマ類 | ANM-138 フロアブル, アファームエクセラ顆粒水和剤, ジュリボフロアブル, スピノエース顆粒水和剤, ハチハチフロアブル, ハチハチ乳剤, モスピラン顆粒水溶剤 |
| | ネコブセンチュウ | MAI-08012 粒剤 | | コナガ | BASF プリンス粒剤, DKI-1045 粒剤, ジュリボフロアブル |
| すいか | コナジラミ類 | モスピラン粒剤 | | | |
| | ハスモンヨトウ | ブレオフロアブル | | | |
| | ウリハムシ | モスピラン顆粒水溶剤 | | | |
| | ハダニ類 | アグリメック | | | |
| | ネコブセンチュウ | MAI-08012 粒剤 | | | |
| かぼちゃ | ネキリムシ類 | ガードベイト A | | | |
| | ウリハムシ | モスピラン顆粒水溶剤 | | | |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|------------|------------|--|------------|-------------------------|---|
| キャベツ | ハイマダラノメイガ | BASF プリンス 粒剤, DKI-1045 粒剤, XI-0601OD, アクセルフロアブル, フェニックス顆粒水和剤, プレバソンフロアブル 5 | ねぎ | ネギハモグリバエ | ANM-138 フロアブル, MTI-446 粒剤 1, XI-0601OD, アグリメック, アニキ乳剤, キックオフ顆粒水和剤, ダントツ水溶剤, ダントツ粒剤, プレバソンフロアブル 5, ベストガード水溶剤 |
| | アオムシ | ANM-138 フロアブル, ジュリボフロアブル, フェニックス顆粒水和剤 | | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 |
| | ウワバ類 | フェニックス顆粒水和剤 | たまねぎ | ネギアザミウマ | ハチハチ乳剤 |
| | ハスモンヨトウ | フェニックス顆粒水和剤, プレバソンフロアブル 5 | | ハスモンヨトウ | ディアナ SC |
| | オオタバコガ | セルオーフロアブル | にら | アザミウマ類 | ディアナ SC |
| | ナメクジ類 | ヨネボン水和剤 | | ネダニ | IKI-1145 粒剤 1.5, トクチオン乳剤 |
| カリフラワー | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 | にんにく | イモグサレセンチュウ | キルパー液剤 |
| ブロッコリー | アブラムシ類 | キックオフ顆粒水和剤 | らっきょう | ネダニ | トクチオン乳剤 |
| | コナガ | XI-0601OD, フェニックス顆粒水和剤 | アスパラガス | コナジラミ類 | ディアナ SC |
| | ハイマダラノメイガ | アフームエクセラ顆粒水和剤 | アザミウマ類 | アザミウマ類 | カスケード乳剤, モスピランジェット |
| | アオムシ | キックオフ顆粒水和剤, トレボン乳剤 | | ハスモンヨトウ | ディアナ SC |
| | ハスモンヨトウ | XI-0601OD | レタス | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, XI-0601OD |
| チンゲンサイ | カブラハバチ | モスピラン顆粒水溶剤 | ヒメフタテンヨコバイ | ジュリボフロアブル | |
| のぎわな | コナガ | マッチ乳剤 | | ハスモンヨトウ | XI-0601OD, フェニックス顆粒水和剤 |
| | アオムシ | マッチ乳剤 | ナモグリバエ | AKD-1162 乳剤, モスピラン顆粒水溶剤 | |
| なばな | アブラムシ類 | ウララ DF | | アブラムシ類 | ウララ DF, ダントツ粒剤 |
| 非結球アブラナ科野菜 | コナガ | ブレオフロアブル, ディアナ SC | ネキリムシ類 | | アクセルベイト |
| | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 | | ハスモンヨトウ | アクセルフロアブル |
| いちご | アブラムシ類 | XI-0601OD | にんじん | アブラムシ類 | ダントツ水溶剤 |
| | コナジラミ類 | ME5343 顆粒水和剤, XI-0601OD, マハラジャ乳剤 | | ネキリムシ類 | アクセルベイト |
| | ハスモンヨトウ | XI-0601OD | ヨトウムシ | スカウトフロアブル, バイスロイド乳剤 | |
| | コガネムシ類(幼虫) | モスピラン粒剤 | | ハスモンヨトウ | アクセルフロアブル |
| ねぎ | ネギハモグリバエ | ベストガード粒剤 | パセリ | アブラムシ類 | マハラジャ乳剤 |
| | ネギアザミウマ | キックオフ顆粒水和剤, ベストガード水溶剤 | | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 |
| | ネギコガ | MTI-446 水溶剤(顆粒), プレバソンフロアブル 5 | みつば | ネコブセンチュウ | IKI-1145 粒剤 1.5 |
| | シロイチモジヨトウ | XI-0601OD, アクセルフロアブル, フェニックス顆粒水和剤 | ほうれんそう | ハスモンヨトウ | ディアナ SC, ブレオフロアブル, プレバソンフロアブル 5, ロムダンフロアブル |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|---------|-----------|-----------------------------|-------|-----------------------|------------------|
| オクラ | ハスモンヨトウ | プレバソフフロアブル 5 | ストック | ネキリムシ類 | ガードベイト A |
| | オオタバコガ | プレバソフフロアブル 5 | ひまわり | コナジラミ類 | MTI-446 水溶剤 (顆粒) |
| しょうが | ハスモンヨトウ | アクセルフロアブル, プレバソフフロアブル 5 | バンジー | ハダニ類 | クリーンサポート |
| | ネコブセンチュウ | IKI-1145 液剤 | パチュニア | ハモグリバエ類 | ディアナ SC |
| 食用さくら葉 | コスカシバ | スカシバコン L | バーベナ | コナジラミ類 | MTI-446 水溶剤 (顆粒) |
| 野菜類 | コナジラミ類 | オレート液剤 | 花き類 | アブラムシ類 | コルト顆粒水和剤 |
| | ヨトウガ | コナガコンプラス | | コナジラミ類 | コルト顆粒水和剤 |
| きく | アブラムシ類 | IKI-220SC | | アザミウマ類 | カウンター乳剤 |
| | アザミウマ類 | XI-0601OD | | オオタバコガ | ディアナ SC |
| | ハスモンヨトウ | フェニックス顆粒水和剤, プレバソフフロアブル 5 | ハダニ類 | トクチオン乳剤, ビフェントリンフロアブル | |
| | オオタバコガ | ファルコンエースフロアブル, プレバソフフロアブル 5 | さくら | カイガラムシ類 | アプロードフロアブル |
| | ハモグリバエ類 | アニキ乳剤, プレバソフフロアブル 5 | | ケムシ類 | フェニックスフロアブル |
| | ナミハダニ | マハラジャ乳剤 | | イラガ類 | マツグリーン液剤 2 |
| | ネグサレセンチュウ | ネマキック粒剤 | | ハスオビエダシヤク | アデオオン乳剤 |
| ばら | ハスモンヨトウ | ロムダンフロアブル | さざんか | カイガラムシ類 | アプロードフロアブル |
| | ハバチ類 | マツグリーン液剤 2 | つばき | ハスオビエダシヤク | アデオオン乳剤 |
| | ハダニ類 | NNI-0712 フロアブル | まさき | カイガラムシ類 | アプロードフロアブル |
| カーネーション | アザミウマ類 | ディアナ SC | | マサキナガカイガラ | マツグリーン液剤 2 |
| | ハスモンヨトウ | ロムダンフロアブル | ひのき | コガネムシ類 | アドマイヤー 1 粒剤 |
| | ハダニ類 | NNI-0712 フロアブル | ブラタナス | アメリカシロヒトリ | アセルプリン |
| | | | 加害作物 | アフリカマイマイ | スラゴ |
| | | | | ナメクジ類 | メタレックス RG 粒剤 |

平成 23 年度の依頼は 129 剤、のべ 1,545 件の試験が実施された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は ANM-138 フロアブル (フロメトキン: 日本化薬・Meiji Seika ファルマ), DAI-1001 10%フロアブル (スルホキサフロル: ダウ・ケミカル日本), DKI-1045 粒剤 (シアントラニプロール: デュボン), ME5343 顆粒水和剤 (シプロベン: Meiji Seika ファルマ), NK-1001 乳剤 (ポリグリセリンオレイン酸エステル: 日本化薬) であった。マイナー作物は今年は賑やかで、えんどうのアザミウマ類・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類, そらまめのハモグリバエ類, あわ・ひえのアワノメイガ, そばのハスモンヨトウ, ししとうのハダニ類, のごわなのコナガ・アオムシ, なばなのアブラムシ類, にんにくのイモグサレセンチュウ, らっきょうのネダニ類, アスパラガスの各種害虫, パセリのアブラムシ類・ネコブセンチュウ, みつばのネコブセンチュウ, オクラのハスモンヨトウ・オオタバコガ等の試験が進んだ。

表-12 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:果樹・茶・芝)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|---------|-------------|---|----------------------------------|----------------------------|--|
| なし | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, アクリナトリン 6% SC | ぶどう | アメリカシロヒトリ | XI-0801SE |
| | カイガラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, スプレーオイル, ラビサンスプレー | | ケムシ類 | サムコルフロアブル 10 |
| | コナカイガラムシ類 | ハーベストオイル | | スカシバ類 | フェニックスフロアブル |
| | カメムシ類 | アクリナトリン 6% SC, テルスターフロアブル | | トビイロトラガ | モスピラン顆粒水溶剤 |
| | チャノキイロアザミウマ | ディアナ WDG | | コガネムシ類 | イカズチ WDG, コテツフロアブル |
| | ケムシ類 | サムコルフロアブル 10 | | ハダニ類 | NNI-0711 フロアブル, テルスタージェット |
| | ハマキムシ類 | XI-0801SE | かき | カメムシ類 | テルスターフロアブル |
| | シンクイムシ類 | サムコルフロアブル 10 | | カキクダアザミウマ | カスケード乳剤 |
| | ハダニ類 | アクリナトリン 6% SC, テルスターフロアブル, バリュースターフロアブル | | フタモンマダラメイガ | フェニックスフロアブル |
| | もも | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, アクリナトリン 6% SC | くり | ハダニ類 |
| カイガラムシ類 | | モスピラン顆粒水溶剤 | モモノゴマダラノメイガ | | フェニックスフロアブル |
| カメムシ類 | | イカズチ WDG | いちじく | ヒラズハナアザミウマ | ディアナ WDG |
| ハマキムシ類 | | サムコルフロアブル 10 | | ハダニ類 | NNI-0711 フロアブル |
| シンクイムシ類 | | アクリナトリン 6% SC | りんご | アブラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル, ME5343 顆粒水和剤, アクリナトリン 6% SC |
| ハダニ類 | | NNI-0711 フロアブル | | ユキヤナギアブラムシ | ピラニカ水和剤 |
| すもも | ケムシ類 | ロムダンフロアブル | | リンゴワタムシ | DAI-1001 10%フロアブル |
| | スモモヒメシンクイ | イカズチ WDG | | カイガラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル |
| | ハダニ類 | NNI-0711 フロアブル, コロマイト乳剤, ダニトロンフロアブル | ケムシ類 | フェニックスフロアブル | |
| うめ | ウメシロカイガラムシ | コルト顆粒水和剤 | シンクイムシ類 | アクリナトリン 6% SC | |
| | カイガラムシ類 | ラビサンスプレー | モモシンクイガ | シンクイコン W | |
| | ケムシ類 | アクセルフロアブル | キンモンホソガ | アクリナトリン 6% SC, フェニックスフロアブル | |
| | アメリカシロヒトリ | サムコルフロアブル 10 | ハダニ類 | デュアルサイド水和剤 | |
| | ケムシ類 | ロムダンフロアブル | リンゴサビダニ | オリオン水和剤 40 | |
| ぶどう | カイガラムシ類 | オリオン水和剤 40 | おうとう | カイガラムシ類 | スプレーオイル, モスピラン水溶剤 |
| | チャノキイロアザミウマ | XI-0801SE, アクリナトリン 6% SC, イカズチ WDG | | コアオカスミカメ | ウララ DF |
| | | | | アザミウマ類 | ディアナ WDG |
| | | | アメリカシロヒトリ | XI-0801SE | |
| | | | ケムシ類 | フェニックスフロアブル | |

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | |
|--------|--------------|-------------------------------|--------------|----------------------|--------------------------------------|------------------------|
| おうとう | ハマキムシ類 | フェニックスフロアブル | キウイフルーツ | ハマキムシ類 | フェニックスフロアブル | |
| | コスカシバ | フェニックスフロアブル | | マンゴー | カイガラムシ類 | アブロードフロアブル, モスピラン顆粒水溶剤 |
| | オウトウシヨウジョウバエ | アクリナトリン 6% SC | | | 茶 | コムカンアブラムシ |
| ブルーベリー | イラガ類 | コテツフロアブル | チャトゲコナジラミ | クリアオール水和剤 | | |
| | オウトウシヨウジョウバエ | ディアナ WDG | チャノミドリヒメヨコバイ | XI-0601OD | | |
| かんきつ | アブラムシ類 | BCI-093SL, DAI-1001 10%フロアブル | ツマグロアオカスミカメ | キラップJ水和剤, コルト顆粒水和剤 | | |
| | ワタアブラムシ | ME5343 顆粒水和剤 | チャノキヒロアザミウマ | XI-0601OD | | |
| | カイガラムシ類 | DAI-1001 10%フロアブル | チャドクガ | トクチオン乳剤 | | |
| | ナシマルカイガラムシ | ダントツ水溶剤 | チャハマキ | チューンアップ顆粒水和剤 | | |
| | カネタタキ | オリオン水和剤 40, ハチハチフロアブル, ロディー乳剤 | チャノホソガ | XI-0601OD, クリアオール水和剤 | | |
| | アザミウマ類 | ウララ 50DF | ヨモギエダシヤク | キラップJ水和剤, XI-0801SE | | |
| | ケムシ類 | ディアナ WDG, マブリック水和剤 | ハスモンヨトウ | サムゴルフフロアブル 10 | | |
| | アゲハ類 | XI-0801SE | カンザワハダニ | トモノール S | | |
| | コアオハナムグリ | リーズン顆粒水和剤 | チャノナガサビダニ | トモノール S | | |
| | ミカンハダニ | KYI-7101 フロアブル, エコピタ液剤 | 芝 | シバツトガ | トレボン MC, SYJ-231 顆粒水和剤 | |
| | ミカンサビダニ | バリュースターフロアブル, リナセル顆粒水和剤 | | タマナヤガ | IKI-7899SC, スティンガーフロアブル, GG201 顆粒水和剤 | |
| | かんきつ (苗木) | アブラムシ類 | | ダントツ水溶剤 | スジキリヨトウ | トレボン MC, SYJ-231 顆粒水和剤 |
| みかん | | コナカイガラムシ類 | | コガネムシ類 | IKI-7899SC | |
| びわ | コナカイガラムシ類 | ダントツ水溶剤 | | コガネムシ類幼虫 | SYJ-231 顆粒水和剤 | |
| | カメムシ類 | ダントツ水溶剤 | | シバオサゾウムシ | SYJ-231 顆粒水和剤 | |

平成 23 年度の落葉果樹分野では 40 薬剤が依頼され、のべ 238 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 17 剤が依頼、のべ 82 件が受託、常緑果樹分野では 28 薬剤が依頼、のべ 94 件が受託、茶分野では 24 薬剤が依頼、のべ 101 件が受託、芝草分野では 9 剤が依頼、のべ 69 件が受託された。

表-13 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:生物農薬)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 有効成分 |
|-----|-----------|--------------|---------------------------|
| 野菜類 | アザミウマ類 | ALB-0663GR | メタリジウム属菌 |
| | アブラムシ類 | ボタニガード ES | <i>Beauveria bassiana</i> |
| | | アフィバール | コレマンアブラバチ |
| なす | アザミウマ類 | ALB-0664 水和剤 | <i>Beauveria bassiana</i> |
| | タバココナジラミ類 | RS-2 | コミドリチビトピカスマカメ |

平成23年度の生物農薬連絡試験では、13薬剤が依頼され、のべ60件の試験が受託された。

本年度初めて申請に足る試験数が得られた生物種は、ALB-0663GR(メタリジウム属菌)、RS-2(コミドリチビトピカスマカメ)が挙げられる。

表-14 平成23年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:家庭園芸)

| 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 | 作物名 | 病害虫名 | 薬剤名 |
|--------|-----------|---|-------|--------------|---|
| ばれいしょ | テントウムシダマシ | GL-45 (スプレー) | ばら | アザミウマ類 | SYJ-177 顆粒水溶剤 |
| えだまめ | カメムシ類 | GL-45 (スプレー) | | チュウレンジハバチ | ESGAL-1 AL 剤, GL-47 (スプレー), サンヨール・トレボン液剤 AL |
| なす | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー), NR-28 スプレー | | ハダニ類 | GL-47 (スプレー), サンヨール・トレボン液剤 AL |
| | ハダニ類 | GL-46 (スプレー) | ガーベラ | オンシツコナジラミ | GL-47 (スプレー) |
| トマト | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー), NR-28 スプレー, サンヨール・トレボン液剤 AL | パンジー | ワタアブラムシ | KIF-21AL |
| ピーマン | アザミウマ類 | GL-45 (スプレー) | | アブラムシ類 | NR-28 スプレー |
| きゅうり | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー), NR-28 スプレー, サンヨール・トレボン液剤 AL | 花き類 | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー), GL-47 (スプレー) |
| | コナジラミ類 | GL-45 (スプレー) | さくら | ケムシ類 | PA0101 エアゾル |
| | オンシツコナジラミ | GL-46 (スプレー) | かなめもち | ヒロヘリアオイラガ | GL-47 (スプレー) |
| だいこん | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー) | ざるすべり | サルスベリフクロカイガラ | GL-47 (スプレー) |
| キャベツ | コナガ | GL-45 (スプレー) | プラタナス | ケムシ類 | PA0101 エアゾル |
| | アオムシ | GL-45 (スプレー) | 樹木類 | ケムシ類 | GL-47 (スプレー) |
| ブロッコリー | アオムシ | GL-45 (スプレー) | なし | アブラムシ類 | カダンセーフ |
| オクラ | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー) | うめ | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー) |
| きく | アブラムシ類 | NR-28 スプレー, サンヨール・トレボン液剤 AL | ぶどう | コナカイガラムシ類 | GL-45 (スプレー) |
| | アザミウマ類 | SYJ-177 顆粒水溶剤 | かき | カキノハタムシガ | GL-45 (スプレー) |
| | ハモグリバエ類 | GL-47 (スプレー) | かんきつ | アブラムシ類 | GL-45 (スプレー), カダンセーフ, ベニカマイルドスプレー |
| | ハダニ類 | サンヨール・トレボン液剤 AL | | ミカンハモグリガ | GL-45 (スプレー) |
| ばら | アブラムシ類 | ESGAL-1 AL 剤, サンヨール・トレボン液剤 AL | | | |

平成23年度の家庭園芸分野では13薬剤が依頼され、のべ260件の試験が受託された。野菜・花き類対象が多かったが、果樹類・樹木類への試験もあった。